

全学共通科目「男女共同参画とジェンダー」(2015)

開講科目名	男女共同参画とジェンダー		
担当教員	岡田 順子、Harrison Richard、宗像 恵、 池上 裕子、平井 晶子、R.ALEXANDER 他	開講区分	単位数
		後期	2 単位

授業のテーマと到達目標

さまざまな領域における課題についてジェンダー概念を通じて考察し、男女共同参画およびジェンダー平等についての理解を深め、個人的な問題は必ず社会的に問題に繋がっているということを認識する。

授業の概要と計画

1. 10/7 ガイダンス
2. 10/14 男女共同参画と神戸大学
3. 10/21 現代日本のジェンダー問題概要
4. 10/28 経済・労働・ジェンダー
5. 11/4 家族・結婚・ジェンダー
6. 11/11 ジェンダーとセクシュアリティ
7. 11/18 ジェンダーと表象
8. 11/25 論理とジェンダー
9. 12/2 法とジェンダー
10. 12/9 世界のジェンダー問題（留学生の発表）
11. 12/16 国際関係とジェンダー
12. 1/6（水振） ジェンダー・平和・軍事主義
13. 1/13 ジェンダーとナショナリズム
14. 1/20 ジェンダー問題についてのディスカッション
15. 1/27 まとめ

成績評価と基準

成績は平常点（40%）とレポート（60%）により評価する。平常点は、出席、コメントシート、討論参加などクラスへの貢献の総合。レポートは、学術的かつわかりやすい言葉で書かれているか、見出し付け文献参照などの作法が整っているか、論理的に整合性があり課題に答えているか、ひとりよがりではなくフェアな議論を展開しながら自分の立場を明らかにしているか、自分の経験と課題にかかわりが記述されているか で評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報などを含む）

授業は、学内の多学部の教員が分担してオムニバス方式で実施する。

オフィスアワー・連絡先

Kaoru.aoyama@tiger.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

関心が薄い領域についても、積極的に聞き、学び、考えてください。何回かの授業で、学生同士の小グループによるディスカッションを行ないますので、「話す・伝える」努力も必要です。

今年度の工夫

テーマを増やした。

教科書

特定の教科書はない。参照すべき文献については、授業中に適宜指示する。

参考書・参考資料等

授業中に適宜、指示する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

ジェンダー セクシュアリティ 多様性 グローバル化 近代性